

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

979

観光案内事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光案内事業	

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	南方 盛治	435-1234
事業実施の根拠法令			関連課				

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	観光客をスムーズに目的観光地へ案内したり、和歌山市の魅力ある観光スポットを紹介できるようにする。		JR和歌山駅・南海和歌山市駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		○JR和歌山駅・南海和歌山市駅・和歌山城にある観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営	○JR和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営	JR和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	JR和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	JR和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	10,763	10,763	7,721	7,721	7,715	7,715	7,561	0	7,561	0	
伸び率(%)	△19.3%	△19.3%	△28.3%	△28.3%	△0.1%	△0.1%	△2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	1,450	1,531	1,513	1,513	1,474	1,474	1,397	0	1,397	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,450	1,531	1,513	1,513	1,474	1,474	1,397	0	1,397	0
国庫支出金	0	0	0	0	3,857	3,857	3,780	0	3,780	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	10,763	10,763	7,721	7,721	3,858	3,858	3,781	0	3,781	0	
所要人数(人)	正規職員	0.18	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.18	0.00	0.18	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	観光案内業務委託料7,715千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
観光案内所数	箇所		目標値	3	2	2	2	2
			実績値	3	2	2		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
まちなか案内所数	箇所		目標値	25	25	25	25	25
			実績値	16	16	16		
			達成度(%)	64%	64%	64%	%	%
年間観光客数(暦年)	千人		目標値	7,000	7,030	7,060	7,090	7,120
			実績値	6,904	4,468	4,653		
			達成度(%)	98.6%	63.6%	65.9%	%	%
			目標値	150,000	150,000	75,000	75,000	75,000
観光案内所での案内件数(暦年)	人		実績値	39,905	9,897	12,816		
			達成度(%)	22.5%	6.6%	8.5%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、案内件数は以前と比較が少ないが、アフターコロナを見据え、本市への来訪者の満足度を高めるため、より充実した案内ができるよう取り組む必要がある。
見直し・改善内容	多言語案内ツールの充実等により、観光案内所における外国人観光客への対応を強化していく。